

第 37 回 つくば臨床医学研究開発機構シーズ評価委員会 議事概要

日 時：令和 7 年 1 月 17 日（金）13:00～15:45

場 所：筑波大学 附属病院 B 棟 11 階 紫峰ホール（ハイブリッド開催）

出席者：橋本(委員長)、黒田、須藤、田口、千葉、野口、町野、松坂、宮崎、森田、山田(武)、
山田(雅)、若松、和氣
(事務局) 辻、檜垣、加来、細貝、石川、石田、小野瀬、迎、安保、細井、高岡、李
(出席者は全員守秘義務について確認)

【議事】：

1. シーズ A の評価（ヒアリング）

- 前回(令和 7 年 1 月 10 日開催)に引き続き、7 件（自拠点 1 件、拠点外 6 件）のヒアリングを行った。
- 大学病院臨床試験アライアンスにおける審査によって、筑波大学に対する採択推薦シーズとして 2 件のシーズ A が選定されたことが報告された。
- 2 日間のヒアリング評価の結果及び大学病院臨床試験アライアンスでの選定結果に基づいて、委員の評価点の平均が高かった 13 件（自拠点 3 件、他拠点 1 件、拠点外 9 件（うちアライアンス推薦 2 件））のシーズ A を筑波大学（橋渡し研究支援機関）としての支援対象シーズとして選定した。

2. 令和 6 年度採択シーズ A（継続希望課題）の評価

- 委員の利益相反の有無を確認の上、委員会に先立って、1 シーズあたり 4 名の委員（うち、1 名は予備評価補助員）により行われた書面での評価結果が報告され、令和 7 年度における支援継続の可否を審議した。
- 支援継続希望のあった 14 件のうち、13 件(自拠点 4 件、他拠点 2 件、拠点外 7 件)は支援を継続することとし、1 件(拠点外 1 件)は支援継続に当たり条件を付すこととした。
- 委員会終了後、条件を付すこととした 1 件について、事務局より研究代表者に支援継続の条件が伝達され、その後提出された条件事項に対する回答を評価委員会委員が評価し、支援継続を認めることとした。
- 以上の結果より、支援継続希望のあった 14 件すべての支援を継続することとした。

以上